

2016年6月6日

株式会社アイキャスト 第21回番組審議委員会 議事録

■日時： 2016年6月2日（木）13:30～14:30

■場所： サンシャイン60

■出席者： 番組審議委員

中島	洋	様	（委員長）
石田	紗英子	様	
木津	直昭	様	
次原	悦子	様	
中島	央	様	
夏目	幸明	様	
野田	一夫	様	
廣瀬	淳一	様	
細貝	淳一	様	

アイキャスト	板東	浩二	（代表取締役社長）
	沼尻	孝	（取締役副社長）
	永田	勝美	（取締役）
	寺嶋	貴樹	（取締役サービス本部長）
	赤穂谷	匡広	（取締役経営企画本部長）
	安西	浩樹	（サービス本部 編成部部長）
	塚原	直子	（経営企画本部 事業戦略部長）
	鈴木	賢司	（同 事業戦略部／書記）

■議事内容

1. 「ひかりTV」サービス概況の報告 ～4Kに対する取り組み～

2. 番組審議

（1）『よしニュー ～よしッ！もっと分かったニュース！～（2016年5月2日放送分）』
について

- ① ニュースをわかりやすく、とっつきやすいように紹介するという視点はよいと思う。しかし、生放送時間帯が5時台であり、サラリーマンは普通は働いている時間である。それならば、せっかくの4K画質を生かして動物や水族館の様子を紹介

介するなど、お母さんがお子さんと一緒に見て楽しめる内容の方がよいのではないか。

- ② この番組は特に 4K 画質でなくてもよいと思った。しかし、「会社」というものについて 1 時間掘り下げて解説するというのは、地上波ではなかなかできない取り組みだと思うので、差異化のポイントできるのではないか。VOD での需要はかなり見込めると思う。
- ③ フリップをもっと大きくした方が視聴者に見やすいと思う。

(2) 『につぼん 4K 巡り 沖縄編 ～漆の王国 琉球の美を巡る旅～』について

- ① 沖縄には何度も足を運んでいるが、首里城について知らなかったことなども紹介されていて興味深かった。4K は映像中心で物事を伝えるのに適したものだと思っているが、旅にまつわるもの、人が入り得ない場所というのは、4K 技術で非常に伝えやすいものなのではないか。各地に自分が行った気になれる、その地に興味が持てるという感覚のものが 4K にマッチしていると感じた。
また、漆の色がリアルに出せるは 4K 映像ならではの。案内役の男性の話し方も、少しテンポが速かったものの、軽快でよかった。番組全体としてまとまりがあり、大変楽しめた。
- ② 4K の番組では風景、景色を扱ったものが多いが、美術品というのは着眼点が大変よい。美術品の描写には 4K がいかに優れているかということが改めて感じられた。「につぼん 4K 巡り」を継続する際には、ぜひ美術品をシリーズとして追いかけてもらいたい。博物館や美術館から入館許可を得られるかどうかは課題だが、シリーズ全体を企画統括する美術館業務経験者などに参加してもらおうとよいのではないか。
- ③ 漆の美しさがよく表現されていた。時間を忘れて見てしまった。
- ④ 自分の地域のすばらしいところを全国の人に見てもらいたいと思っている人がたくさんいるはずで、また、旅行が嫌いな人というのもないはず。そこには見たい人と見せたい人のマッチングがある。4K で見られる環境が整った今、そのマッチングがうまくできれば、よりよいスキームとなるのではないか。
- ⑤ 地方創生の一翼を担える可能性があるのではないか。また、番組で紹介した内容のより詳細な情報をネットで紹介するといった連動ができると、より立体的な価値が生みだせるのではないか。

以 上